



訪問しました!

こうべ男女いきいき事業所

丸正建設株式会社

今回は、平成21年度の「こうべ男女いきいき事業所」のひとつに表彰された丸正建設株式会社を訪ねました。同社は地元神戸を中心に土木工事や建築工事を行う総合建設会社で、従業員は42人。そのうち女性は現在4人ですが、性別に関わりなく男女がともに活躍できる職場づくりを多角的に進めています。

専務取締役 北浪洋司さん
営業部設計課課長 有賀芳子さん
総務部課長 安部義秀さん

業務の見直して働きやすい職場に

高度経済成長とともに業績を伸ばしてきた丸正建設(株)は、昭和41年の創業以来、今も地元密着の堅実経営を続ける企業です。会社の規模こそ大きくはありませんが、すべての職場に男女とも配置。管理職への女性の登用も積極的に行うなど、性別に関係なく活躍できる環境を整えています。

「建設業界は、もともと資格や技術がものをいう業界。実力さえあれば、男性も女性も関係なく仕事ができる業界なんです」と話すのは専務取締役の北浪洋司さん。とはいえ、数ではまだまだ少数派の女性社員が活躍するには会社を挙げての支援が必要と、育児休業制度や短時間勤務制度の柔軟な運用のほか、教育訓練や研修会に参加する機会も頻繁に提供してきました。

今回表彰を受けたのも、こうした一連の取り組みが評価されてのこと。同社の経営理念にある「全社員の幸福を求める」との一文にそのまま結びつくものです。

女性社員の1人で、一級建築士や宅地建物取引主任者の資格を持つ営業部設計課課長の有賀芳子さんも「男性ばかりと思われがちですが、建設の現場で働く女性はどんどん増えています。優秀な女性が多いのに、結婚や出産、介護で辞めるのはもったいない。会社にとっても業界全体にとってもマイナスです」と強調します。兵庫県経営者協会女性産業界懇話会

(VAL21)に参加他社の事例を学ぶなど、協力会社をはじめとする社外の人にも女性が働きやすい職場環境の大切さを、機会を見つけては発信しているそうです。



社員一人ひとりが専門の能力や技術を生かしながら働く社内の様子



右から北浪洋司さん、有賀芳子さん

制度・環境・意識の3本柱で

こうした地道な取り組みが少しずつ実を結び、女性社員が結婚・出産後も仕事を続けることは同社では当たり前のことになりました。現在は1人が育児のための短時間勤務制度を利用し、別の1人が育児休業中です。

「育児休業を取得する女性社員には、長期にわたるライフプランを提示。復帰後の仕事や生活についてしっかり話し合い、休業中も社内情報をメールで提供しています」と総務部課長の安部義秀さん。「育児と仕事の両立に関しては、国の制度が充実したこと、それを活用できる環境が社内に整ったこと、そして社員一人ひとりの意識が変わってきたことで、ここ最近大きく前進したように思います」と話します。

特徴的なのは、こうした制度を社員それぞれのニーズに合わせて柔軟に運用している点。「大企業なら『公平性』を守るため一定の線引きが必要ですが、中小なら小回りがききます。ケースごとに対応することで安心して休んでもらえるようにしています」と安部さんは言います。今後も大企業にはないメリットを生かしながら、すべての社員が仕事も家庭も大切にできる仕組みを整えていくそうです。

「少子化が進むなかで、男女差別があったり、休日もなく長い時間働く旧態依然とした仕事の仕方を続けるなら、若い世代は建設業界に入って来なくなるでしょう。これからは性別や世代に関係なく、働きやすく仕事以外の生活も大事にできる環境をつくっていくことが何より大事なのです」と北浪さん。業界全体の職場環境をより改善していく旗振り役としても、丸正建設(株)のチャレンジはまだ続きます。